

握り手部分の形状を「銀杏の美」の断面形状に似せて削り出した職人の技〈銀杏大曲（素材はオーク）〉。
¥36,300



全く異なる素材を、職人熟練の技術によって繋ぎ合わせた〈スネークチップハンドル（支柱は樫）〉。
¥41,800

野趣あふれる質感そのままの〈コンゴ大曲〉。
¥22,000



職人手彫りによるユニークなアニマルフレンズ。(左)〈レトリバー（樫）〉 ¥24,200
(下)〈猫型手元（樫）〉 ¥16,500



独自の開発による、四つ折木製杖〈スタンドグリップ（オーク）〉 ¥29,700

詳細は〈土屋産業 Webショップ〉
<https://tsuchiya-stick.shop-pro.jp/>
〈カタログ＆問い合わせ〉
Tel：03-3861-4621
Fax：03-3864-6267
e-mail：shop@tsuchiyaasangyo.co.jp

ツトネリコ。南米では神の木とも呼ばれるパウサンドウッドは、加工直後は薄茶や鶯色だが、経年で漆黒や緑色へと変化する。世界最高峰、ステッキの王者といわれるスネークウッドは、蛇の鱗のような個性的な斑紋があり重厚な印象を与える。昔から王室や貴族などの特別な階級のステータス・シンボルとして、また家宝として愛されてきた。入手が非常に困難な希少木で幻の木ともいわれている。堅い杖手元を大きく曲げる技術、彫刻や彫金などの趣向を凝らした装飾などと芸術性も高く、完成された高度な工芸品として皇族関係者や吉田茂、瀬戸内寂聴さんなどの著名人も使用。杖手元に使われる鹿角は自然の形のままに。象牙や鯨歯先などは素材感を生かす。このように、いわれや物語を持つ天然木のステッキの奥深さを知ると、ますます新しい楽しみにもつながっていく。



〈リハ並木祭＆国リハ コレクション2019〉展示の様。多くの人に、『木製ステッキ』など、様々なステッキを直接手に取り、感触を楽しんでもらう。(2019年10月19日・国立障害者リハビリテーションセンター)

『木製ステッキ』の中には、神秘的な紫色の木パープルハートを始め、伝統的な寒竹の杖など、1本モノの高級天然木ステッキがある。中でも代表的なステッキが〈唐木三大銘木〉と呼ばれる黒檀、紫檀、鉄刀木。重硬で緻密でもあり、昔から珍重されてきた高級天然木である。

他にも稀少価値、鑑賞価値の高い天然木が多くある。奎の美しさや色、形が特徴の花梨の瘤。渋柿の古木が長い年月をかけて黒色の紋様が現れる、希少性の高い黒柿。延寿という漢字が当てられ、病魔を払い寿命を延ばすという縁起の良いエンジュ。世界の中心にそびえる木、世界樹と呼ばれ、人類はその木から生まれたという神話を持つ

土屋産業(株)

東京の下町・浅草橋の老舗ステッキメーカー。誕生は1932(昭和7)年、象牙原料輸入業として創業。1940年、厳選した木製ステッキ製造をスタート。1980年頃には、いち早くイタリアのデザインハンドル(杖手元がレジンハンドル)製品を展開。1986年、ヒット製品となる木製折りたたみステッキ(実用新案登録)を開発。1992年よりアルミ製ステッキ製品の販売をスタート。レース布地張りステッキ(実用新案登録)を開発。ステッキを実用的な歩行器具から、よりファッショナブルなものにしていく。2004年には、自社ブランド『チェリーマウンテン Cherry Mountain』を立ち上げ。2015、2016年「ウッドデザイン賞(新・木づかい顕彰)」(林野庁)を2年連続で受賞。現在も品質・安全性・素材・デザインにこだわった確かなステッキを創り続けている。

〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-29-10
HP：<http://www.tsuchiyaasangyo.co.jp/>

『木製ステッキ』 自然の形のままの天然木から、 磨き上げた工芸品まで



銘木四角大曲ステッキ〈タモ〉。硬くて反発のある、日本の伝統木材。¥99,000

現在、僅か4本だけの製造という〈黒柿プレミアムステッキ 究〉。多くの愛好家を惹きつけてやまない銘木。象牙リング付。¥450,000

宝石のような紫色が美しい〈パールハート大曲〉。経年により紫から紫褐色へと変化。¥55,000



希少種〈紫タガヤサン大曲〉は、使い込むことによってさらに紫褐色へと変化。非常に硬い銘木。¥55,000

銘木四角大曲の〈紫檀大曲〉。しっかりと握った時、手に角が際立つ個性派ステッキ。¥110,000

希少素材の象牙を取り付けた、贅沢極まる逸品〈象牙チップ黒檀大曲〉。¥198,000